



2025 JAPAN LATTE ART CHAMPIONSHIP

Official Rules and Regulations



一般社団法人 日本スペシャルティコーヒー協会
Specialty Coffee Association of Japan

目次

1.参加条件.....	5
1.1 組織について.....	5
1.2 権利.....	5
1.3 参加条件.....	5
1.3.3 年齢要件.....	5
1.3.4 出場資格について.....	5
1.3.5 複数パスポートの保有.....	5
1.3.6 経費について.....	5
1.4 コンフリクトについて.....	5
1.4.1 審査に関するコンフリクト.....	5
1.4.2 キャリブレーションバリスタに関する規定.....	6
1.4.3 その他のコンフリクト.....	6
1.5 規則と規定の施行.....	7
1.5.1 健康と安全に関する条項.....	7
1.6 申し込み.....	7
1.6.1 競技者登録フォーム.....	7
1.6.3 競技者からの質問.....	7
1.6.4 利用規約.....	7
2.大会運営.....	8
2.1 競技概要.....	8
2.2 ステージでのパフォーマンス.....	8
2.2.1 予選ラウンド.....	9
2.2.3 決勝ラウンド.....	9
2.3 アートバー.....	9
2.4 提供されるミルクとコーヒーの使用.....	10
2.5 ドリンクの定義.....	10
2.5.1 表面の材料.....	10
2.5.2 ステージパフォーマンス - フリーポアラテ.....	11
2.5.3 ステージパフォーマンス - デザイナーラテ.....	11
3.競技手順.....	11
3.1 競技ステージエリア.....	11
3.2 アートバー.....	12
4.機械、アクセサリ、および原材料.....	12
4.1 エスプレッソマシン.....	12

4.1.1 定義.....	12
4.1.2 JLAC 提供のエスプレッソマシン.....	12
4.1.3 マシン上に液体や材料を置かないこと.....	12
4.1.4 失格.....	13
4.2 グライNDER.....	13
4.3 ミルク.....	13
4.4 コーヒー.....	13
4.5 追加設備.....	13
4.6 提供される機器と備品.....	14
4.7 推奨される機器と備品.....	14
5. 競技者の準備時間前の指示.....	15
5.1 競技者オリエンテーションミーティング.....	15
5.2 準備/練習室.....	15
5.2.1 練習時間.....	15
5.3 競技音楽.....	15
5.4 時間厳守.....	15
5.5 ステーションのセットアップ.....	16
5.6 サポーター/アシスタントのステージへの立ち入り禁止.....	16
6. 準備時間.....	16
6.1 準備時間の開始.....	16
6.2 ジャッジ用プレゼンテーションテーブル.....	16
6.3 テスト抽出.....	16
6.4 準備時間終了.....	16
7. 競技時間.....	17
7.1 司会者による紹介.....	17
7.2 競技時間の開始.....	17
7.3 必須のドリンクの提供.....	17
7.4 ステーションの範囲.....	17
7.5 競技時間の終了.....	17
7.6 競技時間後のコミュニケーション.....	18
7.7 延長ペナルティ.....	18
7.8 コーチング.....	18
8. 技術的な問題.....	18
8.1 妨害行為.....	19
8.2 忘れ物アクセサリ.....	19

9.清掃時間.....	19
10.競技後.....	19
10.1 スコア管理.....	19
10.1.1 JLAC 公式スコア管理.....	19
10.1.2 競技者の総合スコア.....	19
10.1.3 同点の場合.....	20
10.2 デブリーフィング.....	20
11.審査基準.....	20
11.1 競技エリア.....	20
11.2 ドリンクのプレゼンテーション.....	20
11.3 技術的なスキル.....	20
11.4 パフォーマンス.....	20
12.評価基準.....	20
12.1 評価基準 0-3.....	21
12.2 評価基準 0-6.....	21
13.ヘッドジャッジ評価手順.....	21
13.1 ベストプラクティス.....	21
13.2 開始時と終了時の整理整頓.....	22
13.3 技術的スキルとマシンの使用に対する総合印象.....	22
14.ビジュアル評価手順.....	23
14.1 予選、決勝 - ステージパフォーマンス.....	23
14.2 決勝ラウンド - アートバー.....	25
15.ジャパンラテアートチャンピオンシップにおける異議申し立て.....	25
15.1 SCAJ 競技会での審査/採点に関する問題.....	25
15.2 JLAC でのその他の問題.....	26
15.3 JLAC での異議申し立て.....	26
15.4 JLAC での SCAJ による異議申し立ての審査.....	26
16.日本における競技会イベントについて.....	26
16.1 競技団体のルール変更のハイライト.....	26
16.2 テクニカル評価手順.....	28
16.3 大会における抗議.....	31

※目次の番号は World Latte Art Championship の R&R に準拠しています。

1.参加条件

1.1 組織について

日本スペシャルティコーヒー協会(以下、SCAJ)が主催するジャパンラテアートチャンピオンシップ(以下、JLAC)は World Coffee Events(以下、WCE)が主催する The World Latte Art Championship(以下、WLAC)の日本代表選考を兼ねて開催され、大会は当協会が定める JLAC ルール&レギュレーションに準拠して運営されます。

1.2 権利

ジャパンラテアートチャンピオンシップに関連するすべての知的財産(公式ルールおよび規定、競技フォーマットを含む)は、SCAJ の所有物です。この文書のいかなる部分も、SCAJ の明示的な許可なく使用または複製することはできません。

1.3 参加条件

1.3.3 年齢要件

競技者は、SCAJ が認可するイベントに参加する時点で 18 歳以上である必要があります。

1.3.4 出場資格について

競技者は、会員資格を問わず日本在住の方とします。ただし、世界大会への参加資格は日本国籍を有する方、もしくは 2 年以上の在職証明・就学証明書類を有する方とします。2 年以上の在職証明・就学証明書類により参加申請する場合、世界大会開催の 12 か月以内に、上記の期間の条件を満たしていなければなりません。競技者は、WLAC 年度内に 1 カ国のみ代表として WLAC にて競技することができます。

1.3.5 複数パスポートの保有

競技者が複数のパスポートを保有している場合、1 つの競技団体を選択し、その選択した競技団体の認可されたチャンピオンシップを通じて資格を取得する必要があります。

1.3.6 経費について

ライセンスを持つ競技団体は、競技団体チャンピオンの合理的な旅費および滞在費(WLAC の期間中および往復分)を負担する義務があります。上記に明示的に記載されていないその他の費用は、すべて競技者自身の責任となります。WCE は、いかなる状況下においても競技者の費用について責任を負いません。

1.4 コンフリクトについて

1.4.1 審査に関するコンフリクト

A. 競技者およびジャッジの制限

競技者は、その年の JLAC イベントが終了するまで、自国を含むいかなる国でも認可された WLAC 競技(ワールド、競技団体、地域大会)において審査を行うことはできません。

ジャッジは、その年の JLAC イベントが終了するまで、自国を含むいかなる国でも認可された WLAC 競技に競技者として参加することはできません。

B. ジャッジのコーチング制限

JLAC ジャッジは、JLAC イベントでコーチングと審査の両方を行うことはできません。

登録済みのジャッジが、競技者に対していかなる形であれコーチングやフィードバックを提供した場合（メインコーチ、サポーター、またはコンサルタントとして）、そのコンフリクトをイベント前およびキャリアレーション中に申告する必要があります。コンフリクトを申告しない場合、競技者の失格につながる可能性があります。

イベントが始まるかジャッジのキャリアレーションが開始される（いずれか早い方）と、競技中のジャッジと競技者の間でいかなる形式のコミュニケーションや相談も禁止されます。このルールに違反した場合、競技者の失格およびジャッジの審査資格の剥奪が行われます。

C. ジャッジの選出に関する制限

競技者は、自身の競技団体の競技でジャッジを選出または推薦することはできません。

1.4.2 キャリブレーションバリスタに関する規定

A. キャリブレーションバリスタとしての参加制限

この競技のジャッジキャリアレーションにキャリアレーションバリスタとして参加した競技者は、その競技年度が終了するまで認可された競技イベントに参加する資格を失います。

この制限は、競技団体の WCE 認可イベントおよび世界大会の両方に適用されます。

B. キャリブレーションバリスタとしての参加資格

競技者は、同じ競技年度にその選手権に出場しない場合、キャリアレーションバリスタとして参加することが許可されます。また、競技団体の選手権で世界大会への出場資格を得られなかった場合、同じ競技年度内に世界大会でキャリアレーションバリスタとして参加することが許可されます。

C. 競技年度の定義

競技年度は、競技団体のイベントが世界大会への出場資格を与える対象となる世界大会を基準とします。

正しい例:

2021 年の世界大会のキャリアレーションバリスタを務めた競技者が、2022 年の世界大会への出場資格を得るために競技団体のイベントに参加することは認められます。

誤った例:

2021 年の認可された競技団体のイベント（たとえ自国以外の国でも）でキャリアレーションバリスタを務め、その後同じ年度の 2021 年世界大会に参加することは認められません。

1.4.3 その他のコンフリクト

競技者、ジャッジ、およびイベントオーガナイザーは、可能性のあるコンフリクトを最速で、必ず競技開始前に申告しなければなりません。

認可イベントの前にコンフリクトを申告しない場合、該当個人のイベントからの失格や、イベントの結果がこれらのガイドラインに従わなかった場合に SCAJ による承認の取り消しが行われる可能性があります。

コンフリクトに関する質問や、上記ポリシーの明確化が必要な場合は、competition@scajconference.jp に問い合わせてください。

1.5 規則と規定の施行

JLAC は、競技中にこれらの規則と規定を適用します。競技者が 1 つ以上の規則や規定に違反した場合、特定の施行措置や結果が指定されていない限り、自動的に失格となる可能性があります。

ただし、ジャッジや競技運営者が規則違反を引き起こした場合、競技者は「ジャパンラテアートチャンピオンシップでのアピール」または「競技団体イベントでのアピール」のセクションに記載された手順に従ってアピールを提出することができます。

1.5.1 健康と安全に関する条項

すべての規則と規定は、地域および会場の健康・安全要件やガイドラインに基づき変更される場合があります。SCAJ は、競技前に変更がある場合、電子メールでお知らせします。これらの変更には以下が含まれる場合がありますが、これに限定されません：

- ・テーブルサイズやレイアウトの変更
- ・提供される容器やカップの材質の変更
- ・準備室および練習室におけるコーチやサポーターの制限
- ・マスクや手袋の着用義務
- ・消毒のためのスケジュール変更

1.6 申し込み

1.6.1 競技者登録フォーム

競技者は、JLAC の競技者登録フォームを記入する必要があります。

1.6.3 競技者からの質問

すべての競技者は、現在の JLAC 規則と規定およびスコアシートを例外なく読み理解する責任を負います。すべての JLAC 関連書類は、<https://scaj.org/activity/competitions/jlac/jlac-overview> にて閲覧可能です。競技者は、JLAC が開始する前に質問をすることを推奨されます。規則や規定の意図について明確でない場合、JLAC 開始前に事務局に問い合わせ、その意図を確認する責任があります。

問い合わせは competition@scajconference.jp 宛てに送信してください。また、競技開始前に開催される公式のオリエンテーションでも質問する機会があります。

1.6.4 利用規約

競技者およびジャパンラテアートチャンピオンは、JLAC イベントの広報担当者であり、スペシャルティコーヒー業界のロールモデルとして、以下を遵守する必要があります：

- A. SCAJ、その関係者、代理人、および代表者が、競技者の名前、画像、または肖像を任意の形式で無償でビジネス目的（マーケティングプロモーションを含むがこれに限定されない）に使用することを許可する。

2.大会運営

2.1 競技概要

- A. JLAC は、予選、決勝の 2 つのラウンドで構成されています。
- B. 予選では、競技者は合計 4 杯のドリンクを作成します：
 - 同一デザインのフリーポアラテ 1 セット(2 杯)
 - 同一デザインのデザイナーラテ 1 セット(2 杯)
- C. 予選スコア上位 6 名が決勝に進出します。
- D. 決勝には 2 つの要素があります：
 - i. アートバー - 競技者は 1 杯のデザイナーラテを作成します。
 - ii. ステージプレゼンテーション - 競技者は合計 6 杯のドリンクを作成します：
 - 同一デザインのフリーポアラテ 2 セット(4 杯)
 - 同一デザインのデザイナーラテ 1 セット(2 杯)

2.2 ステージでのパフォーマンス

- A. 競技者は各パターン(例:フリーポアラテ、デザイナーラテ)の写真を正確に印刷して提出する必要があります。画像には「フリーポア」および「デザイナー」と記載してください。写真は試みるパターンを明確に示している必要があります(パターンの芸術的な表現や電子デバイス上の画像は受け付けられません)。印刷された写真を提出しない場合、「提出された写真に一致する 2 つの同一パターン」のセクションで 0 点となります。
- B. 各ドリンクは提出された写真と比較して審査されます。両方のドリンクは提出された写真と一致している必要があります、その一致度に基づいてスコアが付けられます。写真とドリンクが全く一致しない場合、そのドリンクカテゴリ全体がビジュアルスコアシートで 0 点となります。
- C. ドリンクは各ラウンドのドリンクカテゴリの順序通りに提供しなければなりません。フリーポアラテは常に最初に提供されます。
- D. 各ドリンクカテゴリ(例:同一カテゴリのフリーポアラテ 2 杯)を完成させる前に別のドリンクセットを提供した場合、不完全なドリンクカテゴリ全体がビジュアルスコアシートで 0 点となります。
- E. フリーポアラテでエッチングを施した場合、そのドリンクカテゴリ全体がビジュアルスコアシートで 0 点となります。
- F. 同時に 2 人の競技者がパフォーマンスを行う場合があります。競技者は自分自身の音楽を持ち込むことはできません。
- G. 競技者は、自分の作成したドリンクについてジャッジや観客にプレゼンテーションをすることができます。ジャッジにドリンクを提供する際のホスピタリティスキルも評価の対象となります。
- H. ジャッジは予選では 3 人で構成されます:2 人のビジュアルジャッジと 1 人のヘッドジャッジ。
決勝では 4 人で構成されます :1 人のテクニカルジャッジと 2 人のビジュアルジャッジと 1 人のヘッドジャッジ。
- I. 競技者は、競技で提供されるグラインダーおよびエスプレッソマシンを使用する必要があります。自分の機材を使用することはできません。

2.2.1 予選ラウンド

- A. 各競技者には指定されたステーションで 13 分間が与えられ、以下のセグメントに分けられます：
 - i. 準備時間: 5 分
 - ii. 競技/パフォーマンス時間: 8 分
- B. 競技者は以下の順序で合計 4 杯のドリンクを作成する必要があります：
 - i. 2 杯の同一デザインのフリーポアラテ
 - ii. 2 杯の同一デザインのデザイナーラテ

2.2.3 決勝ラウンド

- A. 各競技者には指定されたステーションで 16 分間が与えられ、以下のセグメントに分けられます：
 - i. 準備時間: 5 分
 - ii. 競技/パフォーマンス時間: 11 分
- B. 競技者は以下の順序で合計 6 杯のドリンクを作成する必要があります：
 - i. 2 セットの同一デザインのフリーポアラテ (合計 4 杯のドリンク)
 - ii. 2 つの同一デザインのデザイナーラテ

2.3 アートバー

- A. アートバーは決勝ラウンドの一部です。
- B. 各決勝進出者は、フリーポア技術およびエッチングを利用して、自身のデザインによるラテを 1 杯作成します。表面装飾も適度に使用可能です (詳細は「表面の材料」のセクションを参照)。バリスタのスキル (例: フリーポア、エッチング、芸術的才能など) を最大限に引き出す創造性には高得点が与えられるべきです。
- C. 競技者は自身のデザインに名前を付ける必要があります。この名前は審査中にジャッジに提供されます。
- D. 準備および競技時間中、アートバーエリアには競技者のみが入ることができます。観客、カメラマンなどはバリスタの作業を妨げないよう十分な距離を保つ必要があります。
- E. 競技者には 5 分間の準備時間が与えられ、その後 5 分間の競技時間が開始されます。
- F. 競技時間中、競技者は自身のデザインを作成し、指定された場所で写真撮影用に提供する必要があります。
- G. 競技者は 5 分間の競技時間内であれば何度でも作成できますが、カメラに提供するドリンクは 1 杯のみです。
- H. ドリンクが新鮮な状態で写真撮影用に提供される責任は競技者にあります。競技者は自身でドリンクを指定された写真撮影エリアに運ぶ必要があります。ドリンクの見た目に関するこぼれや乱れについても責任を負います。カップやソーサーのこぼれは、清潔なクロスやナプキンで拭き取ることが許可されています。
- I. タイムキーパーが競技者に残り時間を以下のように知らせます: 3 分、1 分、30 秒。ドリンクがカメラマンに提供された時点でタイマーは停止されます。
- J. ドリンクの写真は 4 人のジャッジによって評価されます: 3 人の認定 JLAC ジャッジと、コーヒーに精通していない場合がある芸術的専門性を持つジャッジ (例: シェフ、アーティスト、デザイナーなど)。
- K. ジャッジはドリンクの写真を、全体的な魅力的な印象および材料間のコントラストに基づいて評価します。
- L. パターンの写真を事前に提出する必要はありません。
- M. 写真は SCAJ のプロモーションに使用される場合があります。

N. 競技者は競技で提供されるグラインダーとエスプレッソマシンを使用する必要があります。自身の機材を使用することはできません。

O. 競技者は競技で提供されるカップを使用する必要があります。

P. カップの外部装飾は許可されていません。

2.4 提供されるミルクとコーヒーの使用

競技者は JLAC によって提供されるコーヒーとミルクを使用する必要があります。競技者は未開封の牛乳パックをステージに持ち込む必要があります。

ステージ外でミルクを準備すること(ボトル等に移すなど)は許可されていません。

競技者は準備時間中に未開封の牛乳パックからミルクを準備できます。

SCAJ は競技開始の 4 週間前までに、提供されるミルクの必須使用について競技者に通知します。

2.5 ドリンクの定義

A. JLAC において

ラテは、提供されるラテカップにエスプレッソとスチームミルクを組み合わせたドリンクと定義されます。

B. ラテについて

競技者は、シングルエスプレッソ、ダブルエスプレッソ、またはリストレットのいずれかを使用することができます。

D. 抽出時間

抽出時間は、ラテの場合は 20 秒以上必要です。

E. 使用可能な材料

すべてのドリンクはコーヒーとミルクのみで作る必要があります。

表面の材料はデザイナーラテのみに留まる必要があります。

F. 提供される材料

コーヒーとミルクは JLAC が提供します。競技者が自分で持ち込むことは許可されておらず、これに違反した場合、そのドリンクカテゴリ全体がビジュアルスコアシートで 0 点となります。

2.5.1 表面の材料

A. 許可される材料

チョコレートパウダー、食用着色料、シロップなどの表面材料は、アートバーラテやデザイナーラテのみ使用が認められます。これらはドリンク本体に影響を与えてはいけません。また、食用着色料やフレーバーをドリンク内部に使用する場合、ビジュアルスコアはすべて 0 点となります。

B. 食用着色料の制限

食用着色料は 1 色に制限されており、デザインを強調するためにのみ使用されるべきです。デザインの大部分が着色料や表面材料で構成されている場合は減点されます。1 色を超えて使用した場合、ビジュアルスコアはすべて 0 点となります。

C. その他のカフェ材料

シナモンや抹茶などのカフェ材料も使用可能です。クレマの表面にミルクを注ぐ前にこれらの材料やチョコレートパウダーを振りかけることは許可されており、これらは主にドリンクの表面に留まるとみなされます。規則に記載されていないその他の装飾は禁じられています。競技者はカフェ材料 1 種と食用着色料 1 色を併用できます。

D. エッチング

エッチングはアートバーラテやデザイナーラテで使用することが許可されています。

2.5.2 ステージパフォーマンス - フリーポアラテ

A. 公式競技用ラテカップ

公式競技用ラテカップの容量は 190ml~300ml です。

公式カップの情報は競技会 HP の補足資料(順次掲載)をご覧ください。このカップを使用しない場合、そのドリンクのビジュアルスコアは 0 点となります。

B. 禁止事項

フリーポアラテにはエッチングや表面装飾は認められません。これに違反した場合、そのドリンクのビジュアルスコアはすべて 0 点となります。

2.5.3 ステージパフォーマンス - デザイナーラテ

A. 公式競技用ラテカップ

公式競技用ラテカップの容量は 190ml~300ml です。

公式カップの情報は競技会 HP の補足資料(順次掲載)をご覧ください。このカップを使用しない場合、そのドリンクのビジュアルスコアは 0 点となります。

B. 許可事項

デザイナーラテでは、エッチングおよび表面材料の使用が認められています。

3.競技手順

3.1 競技ステージエリア

A. 競技スペースの構成

競技スペースには、競技ステーションが設置されたステージが含まれます。競技ステーションの配置は年ごとに変更される場合があります、他の競技と共有されることもあります。

B. 競技者への割り当て

各競技者には、開始時間とステーション番号が割り当てられます。

C. 決勝終了後

決勝終了時に、チャンピオンを発表するセレモニーが行われます。

3.2 アートバー

A. アートバーの設定

ステージパフォーマンスと同じステージで行われます。

B. 決勝のアートバーラウンド

決勝進出者には、アートバーラウンドの開始時間が割り当てられます。

4.機械、アクセサリ、および原材料

4.1 エスプレッソマシン

4.1.1 定義

以下は、SCA スタンダード 350 から引用された本書で使用される定義です：

A. セミオートエスプレッソマシン

セミオートエスプレッソマシンとは、機械的または電気機械的な装置(例:プッシュボタン)を人が操作することで抽出を開始および終了するエスプレッソマシンを指します。

B. 全自動エスプレッソマシン

全自動エスプレッソマシンとは、豆を挽き、それを抽出グループに投入してタンピングおよび抽出を行う機能を備えたマシンを指します。使用者は、マシンの操作パネルを使用して抽出する液体の量を選択します。

C. 非自動スチームワンド

非自動スチームワンドとは、機械的または電気機械的な装置(例:レバー、ノブ、フットペダル)を人が操作することでスチームの開始および終了を行うスチームワンドを指します。

4.1.2 JLAC 提供のエスプレッソマシン

競技者は、公式 JLAC エスプレッソマシンスポンサーが提供するエスプレッソマシンを使用しなければなりません。エスプレッソマシンはセミオートマシンまたは全自動マシンのいずれかです。

提供される非自動スチームワンドは、ミルクを準備するための唯一の方法として認められます。

JLAC 提供のエスプレッソマシンの設定および仕様は固定されており、競技者が変更することはできません。

エスプレッソマシンは次の仕様で調整されています：温度は 90.5～96°C (195～205°F) に設定され、ポンプ圧力は 8.5～9.5bar に設定されています。

4.1.3 マシン上に液体や材料を置かないこと

エスプレッソマシンの上に液体や材料を置いたり注いだりすることはできません(例:カップに水を入れる、液体や材料を注ぐ・混ぜる、材料を温めるなど)。競技者がエスプレッソマシンの上に液体や材料を置いたり注いだりした場合、その競技者は失格となります。

4.1.4 失格

競技者はエスプレッソマシンの設定および仕様を変更、調整、または交換することはできません。

変更や調整が行われた場合、それは失格の理由となる場合があります(例:ポルタフィルター、インサートバスケット、温度、圧力、スチームワンドの先端など)。競技機器の不正使用または乱用による損傷は、ヘッドジャッジの判断により失格となる場合があります。

4.2 グライNDER

競技者は、パフォーマンス中に提供された公式 JLAC グライNDERを使用しなければなりません。

グライNDERは独立したグライNDER、または全自動エスプレッソマシンの一部である場合があります。

独立したグライNDERが提供される場合、競技者はグライNDERサイズを調整することができます。独立したグライNDERはおおよその設定で調整されますが、競技者は自分の要求に合わせてこの設定を微調整することができます(準備時間の5分間内)。

全自動エスプレッソマシンに内蔵されたグライNDERが提供される場合、すべてのステーションで同じ設定に調整されます。競技者はグライNDERサイズやエスプレッソ設定を調整したり変更したりすることはできません。設定が正しいかどうかを確認するのは競技者の責任です。

4.3 ミルク

競技者は、パフォーマンス中に JLAC 提供のミルクを使用しなければなりません。提供されるミルクは2種類以上の選択肢がある場合があります。

競技者は未開封の牛乳パックをステージに持参しなければなりません。ステージ外でミルクを準備することはできません。競技者は準備時間中に未開封の牛乳パックからミルクを準備することができます。

4.4 コーヒー

競技者は、パフォーマンス中に JLAC 提供のコーヒーを使用しなければなりません。SCAJ は、提供されたコーヒーがラテアートで優れた成果を得るのに適していることを確認するための措置を講じます。これには、コーヒーが焙煎後 14 日から 20 日以内で、ミディアムローストまたはミディアムダークロースト(アグトロン値 40~60、グルメスケールで計測されたもの)であることが含まれます(ただし、これに限定されません)。

4.5 追加設備

競技者は、パフォーマンスに使用する設備を最小限に抑えることを奨励されます。ジャッジテーブルにはテーブルクロス、ナプキン、装飾などは必要ありません。メニューカード、フレーム、またはドリンクの写真を表示することは許可されます。必要でない装飾は、ジャッジの判断により、「プロフェッショナルパフォーマンス」のビジュアルスコアセクションで減点となる可能性があります。

SCAJ が提供する機器を除き、追加の電気機器や電源の使用は許可されていません(例:スケール、個人用タイマーなどのバッテリー駆動式アイテムは許可されます)。

競技者は、SCAJ が提供した機器以外のバッテリー駆動アイテムを何点でも持参できますが、その動作が正常であることを確認する責任は競技者にあります。

4.6 提供される機器と備品

各競技者のステージステーションには、以下のものが設備として提供されます：

- A. マシンテーブル(エスプレッソマシンおよびグラインダー用、おおよそ L: 1.80m~2.0m、W: 0.80m~1.0m、H: 0.75m~0.90m) ※会場によって異なる場合がございます。
- B. プレゼンテーションテーブル(ジャッジテーブル、おおよそ L: 1.80m~2.0m、W: 0.60m~0.80m、H: 0.75m~0.90m) ※会場によって異なる場合がございます。
- C. エスプレッソマシン ※会場によって異なる場合がございます。
- D. グラインダー(独立タイプまたは全自動エスプレッソマシンに含まれるもの) ※会場によって異なる場合がございます。
- E. ラテ用カップ ※決勝のみ
- F. タンパー(必要に応じて)
- G. ノックボックス(必要に応じて)
- H. ミルク
- I. コーヒー
- J. ゴミ箱および/または廃棄物バケツ

4.7 推奨される機器と備品

競技者は、パフォーマンスのために必要なものを持参する必要があります。競技者は、移動中や競技中の破損に備えて準備をしておくべきです。競技者は、競技中に自分の機器やアクセサリーの管理責任を負い、JLAC、ボランティア、イベントスタッフは、競技者の準備室や競技エリアに置かれたアイテムの安全について責任を負いません。

競技者が持参可能な機器・備品のリストには、以下が含まれます：

- A. タンパー
- B. ショットグラス
- C. スチーミングピッチャー/ジャグ
- D. フレーム/メニューカード(表示用)
- E. ソーサー(必須ではありません)
- F. スプーン(必須ではありません)
- G. デザイナーラテドリンク用の特定の器具
- H. パータオル/清掃用布(練習および競技用)
- I. 清掃用具(カウンターブラシ、グラインダーブラシなど)
- J. トレイ(ジャッジにドリンクを提供するためのもの)

5. 競技者の準備時間前の指示

5.1 競技者オリエンテーションミーティング

JLAC イベントの開始前に、競技者オリエンテーションミーティングがオンラインまたは対面で行われます。ミーティングの詳細は、イベント前に競技者にメールで送信されます。このミーティングは全ての競技者にとって必須です。ミーティングでは、イベントマネージャーがアナウンスを行い、競技の流れ、競技スケジュールを説明し、ステージおよびバックステージのエリアの画像を共有します。このミーティングは、競技者が質問をしたり、イベントマネージャーに懸念を伝える機会となります。

競技者がオリエンテーションミーティングに参加せず、SCAJ事務局と事前に欠席の取り決めをしていない場合、競技者はヘッドジャッジによって失格となる可能性があります。

5.2 準備/練習室

競技者のために、準備/練習用のエリアが設けられます。このエリアは競技者、コーチ、ボランティア、JLAC の関係者専用です。JLAC のジャッジ、プレス/メディア、競技者の家族やサポーターは、JLAC イベントマネージャーの許可なくこのエリアに入ることはできません。

競技者は、この部屋に機器、アクセサリ、食材などを保管できます。また、この部屋には、競技者がグラスやバールツールを洗うための洗浄ステーションも設置されます。競技者は、自分の食器やグラスを清潔に保ち、これらのアイテムを管理する責任があります。イベントスタッフは、食器や競技者のアイテムの破損や紛失について責任を負いません。

5.2.1 練習時間

準備/練習室には競技ステージと同等の設備が整っています。各競技者には 13 分の練習時間が割り当てられます。練習時間は競技順に基づいてスケジュールされます。

競技者には、JLAC に到着する前に練習スケジュールがメールで送信されます。

JLAC は、指定された練習時間以外での練習スペースの利用を保証しません。もし競技者が予定された練習時間を逃した場合、追加の練習時間は提供されません。予期しない事情で競技者が予定された練習時間に出席できない場合は、競技者ができるだけ早くイベントマネージャーまたはステージマネージャーに連絡する責任があります。

5.3 競技音楽

JLAC は、競技者のパフォーマンス中に音楽を提供し、再生する権利を保持します。

競技者が自分の音楽を提供したり、選択することはできません。

5.4 時間厳守

競技者は、予定された準備時間の少なくとも 45 分前に準備/練習室に到着するべきです。もし競技者が準備時間の開始時に現場にいなかった場合、失格となる可能性があります。スケジュールが遅れた場合でも、競技者は予定された時間に準備が整っていることが求められます。

5.5 ステーションのセットアップ

JLAC イベントスタッフは、各競技者のステーションが競技者のリクエスト通りにセットされていることを確認する責任があります(例: 競技者のリクエストに従い、エスプレッソマシンの右側または左側にグラインダーを配置するなど)。競技者は、準備時間前に自分のステーションが正しくセットされ、清潔であることを確認する責任があります。もしステーションが適切に清掃されていない場合、競技者は JLAC イベントスタッフに特定のエリアの再清掃をお願いすることができます。

5.6 サポーター/アシスタントのステージへの立ち入り禁止

競技者、JLAC のボランティアおよび JLAC イベントスタッフ以外の人物は、競技者の準備時間、競技時間、または清掃時間中にステージに立ち入ることはできません。

6. 準備時間

6.1 準備時間の開始

各競技者には 5 分の準備時間が与えられます。前の競技者が競技時間を開始した時点で、次に予定されている競技者は、JLAC イベントマネージャーの指示を受けて準備時間を開始することができます。

準備時間の目的は、ステーションのセットアップと競技エリアの準備です。

競技者が指定されたステーションに到着し、ステーションが競技者の指定通りにセットされていることを確認した後、公式準備タイムキーパーは競技者に準備時間開始の可否を尋ねます。競技者はステーションの何も触れないうちに、手を挙げて「始めます」と声をかける必要があります。その後、指定された公式準備タイムキーパーは、競技者が「始めます」と言った瞬間にストップウォッチを開始します。

競技者は未開封の牛乳パックをステージに持ち込む必要があります。ステージ外でミルクを準備することはできません。競技者は準備時間中に未開封の牛乳パックからミルクを準備できます。

6.2 ジャッジ用プレゼンテーションテーブル

テーブルクロス、水、ナプキン、装飾は必要ありません。これらはスコアを高めることはありませんが、ホスピタリティに関するスコアが失われる可能性があります。失われるスコアの程度は、ヘッドジャッジの裁量によります。この規則は、競技者が不要な機器を購入したり運搬したりするのを防ぐために設けられています。

6.3 テスト抽出

競技者は準備時間中にテスト抽出が許可されており、奨励されます。セミオートエスプレッソマシンが提供されている場合、競技開始時にポルタフィルター内にパック(別名「ケーキ」)が残っていても構いません。

6.4 準備時間終了

競技者は 5 分の準備時間を超えることはできません。タイムキーパーは競技者に 3 分、1 分、30 秒の警告を行います。予定された準備時間が終了した時点で、公式準備タイムキーパーは「終了です」と告げ、競技者にステーションから離れるよう指示します。

7. 競技時間

7.1 司会者による紹介

準備時間が終了し、ジャッジが準備できたら、司会者が競技者を紹介します。

7.2 競技時間の開始

司会者が競技者に競技時間の開始を知らせます。競技者がジャッジに紹介を始める前に、競技者は手を挙げて「始めます」とコールし、競技パフォーマンス時間を開始します。指定された競技時間キーパーは、競技者が「始めます」と言った瞬間にストップウォッチを開始します。

競技時間中の経過時間を追跡するのは競技者の責任ですが、競技者はタイムキーパーに時間を確認することができます。

- A. 予選ラウンドでは、競技タイムキーパーは競技者に 3 分、1 分、30 秒の残り時間警告を与えます。

競技時間は 8 分です。

- B. 決勝ラウンドでは、競技タイムキーパーは競技者に 5 分、3 分、1 分、30 秒の残り時間警告を与えます。

競技時間は 11 分です。

タイムキーパーはこれらの警告を競技者が話している間にも行うことがあります。

注意: もし時計に故障が発生した場合、競技者は時間を停止することはできません。時計が故障した場合、タイムキーパーの時間が公式の競技時間となり、競技者には上記の警告が同様に与えられます。

7.3 必須のドリンクの提供

すべてのドリンクはジャッジへのプレゼンテーションテーブルに提供する必要があります。

7.4 ステーションの範囲

競技者は、JLAC が提供する作業エリア(マシンテーブルとプレゼンテーションテーブル)のみを利用することができます。競技エリアの床に直接置かれる他の家具や機器(例えば、スタンド、テーブル、昇降機、ベンチなど)の導入は自動的な失格となります。競技者は、競技テーブルの下のスペースを収納場所として使用することはできません。ただし、独立型のノックボックスは例外として許可されています。

7.5 競技時間の終了

競技時間は、競技者が手を挙げて「終わります」と言った時に停止します。競技者は、タイムを正確に記録できるように「終わります」と明確にコールする責任があります。

競技者は任意のタイミングでパフォーマンスを終了することができます。競技者は、最終的なドリンクをジャッジに提供するためにプレゼンテーションテーブルに置いた時点で時間を停止することができます。または、時間を停止する前にステーションに戻って清掃を行うこともできます。スコアリングに使用されるのは、競技タイムキーパーまたはヘッドジャッジによって記録された時間のみです。

競技者が早く終了しても、ペナルティやボーナスはありません。

7.6 競技時間後のコミュニケーション

競技時間が終了した後は、競技者はジャッジとの会話を続けてはいけません。競技時間後の会話は、総得点にはカウントされません。競技者は、競技時間後に司会者との会話を続けることができますが、ジャッジは競技時間後の会話や説明を考慮しません。

7.7 延長ペナルティ

- A. アートバー競技では、競技者は5分間の競技時間終了前に完成したドリンクを指定された審査および写真撮影場所に置く必要があります。競技者が5分を超えると、アートバーの得点は0点となります。
- B. ステージプレゼンテーション中、競技者が指定された時間内にプレゼンテーションを終了していない場合、競技者はプレゼンテーションを完了するまで続けることができます。
- C. 競技者が指定された競技時間を超える毎に、1秒ごとに1点が減点されます。
- D. 競技者のパフォーマンスが指定された競技時間を2分以上超えた場合、その競技者は失格となります。

7.8 コーチング

競技中に競技者に対して指示や「コーチング」を行うことは、失格となるペナルティの対象となります。SCAJは、競技を妨げない範囲で観客の参加や応援を奨励しています。コーチ、サポーター、友人、家族は、競技中にステージに立ったり、競技を妨げたりすることはできません。それを行った場合、競技者はステージマネージャーやヘッドジャッジによって失格となる可能性があります。

以下に記載された「忘れ物アクセサリ」のセクションで説明されている通り、競技者以外の誰もが競技者のために忘れたアクセサリや機器を取りに行くことはできません。

競技者以外の人物によるアイテムの受け渡しは、失格となります。

8. 技術的な問題

準備時間または競技時間中に競技者が以下のような技術的な問題があると感じた場合：

- A. エスプレッソマシン(電源、蒸気圧、制御システムの故障、水不足、排水不良)
- B. グライNDER
- C. 追加の電気機器(競技時計を除く)
- D. AV 機器(マイクなど)

その場合、競技者は手を挙げて「テクニカルタイムアウト」をコールし、ステージマネージャー(準備時間中)またはヘッドジャッジ(競技時間中)に対応を依頼します。この時、時間は停止します。公式タイムキーパーは「テクニカルタイムアウト」の時間を記録します。「テクニカルタイムアウト」がコールされた際には、ヘッドジャッジがタイムキーパーにその記録を伝える責任があります。

- E. ステージマネージャーまたはヘッドジャッジが簡単に解決できる技術的な問題であると判断した場合、競技者に適切な時間を与えることを決定します。問題が修正され次第、競技者の時間は再開されます。
- F. 技術的な問題が迅速に解決できない場合、ステージマネージャーまたはヘッドジャッジは、競技者がパフォーマンスを続けるか、再調整された時間で再度競技を開始するかを決定します。

- G. 競技者が競技時間を停止する必要がある場合、競技者はヘッドジャッジおよびステージマネージャーと共に、新たな時間を設定して再度競技を行います。
- H. 技術的な問題が競技者のミスまたは個人の機器によるものであると判断された場合、ヘッドジャッジは競技者に追加の時間を与えず、準備時間または競技時間を再開させます。
- I. 競技設備に不慣れであることは、テクニカルタイムアウトの理由にはなりません。
- J. グループヘッドの不一致や調整が必要な場合、それは準備時間中のみテクニカルタイムアウトの理由となります。

8.1 妨害行為

- A. ボランティア、ジャッジ、観客、カメラマンなどが競技者に対して明らかに妨害となる場合、競技者には追加の時間が与えられます。ヘッドジャッジがその判断を行い、どれだけの追加時間を与えるかを決定します。
- B. 写真撮影者やカメラマンなどが競技者に物理的に接触した場合、競技者はタイムアウトをコールすることができます。タイムアウトが必要かどうかの最終判断はヘッドジャッジが行います。

8.2 忘れ物アクセサリ

- A. 競技者が準備時間中に機器やアクセサリを忘れた場合、JLAC のステージマネージャーに忘れたアイテムを知らせ、競技者がステージを出て自分で忘れ物を取りに行くことができます。ただし、その場合も準備時間は停止しません。
- B. 競技者が競技時間中に機器やアクセサリを忘れた場合、ヘッドジャッジに忘れたアイテムを知らせ、自分でアイテムを取りに行くことができます。競技時間は停止しません。
- C. コーチ、サポーター、チームメンバー、観客によるアイテムの受け渡しは許可されません。
- D. 競技者以外の人物による忘れ物の受け渡しは、失格となります。

9.清掃時間

競技者が競技時間を終了した後、ステーションの清掃を開始します。競技者は、すべての個人用機器や備品を撤収することが求められます。清掃時間についてはジャッジが評価しません。

10.競技後

10.1 スコア管理

10.1.1 JLAC 公式スコア管理

JLAC の公式スコアキーパーは、すべてのスコアの集計と、スコアの機密性保持を担当します。

10.1.2 競技者の総合スコア

ステージプレゼンテーションの競技者の総合スコアは、予選では 2 名のビジュアルジャッジのスコアシートの合計に、時間のペナルティが差し引かれたものです。

決勝では2名のビジュアルジャッジと1名のテクニカルジャッジのスコアシートの合計に、時間のペナルティが差し引かれたものです。

アートバーの総合スコアを計算するには、各ジャッジのスコアに3倍してから、各ジャッジのスコアを合計します。アートバーの総合スコアは、決勝のステージプレゼンテーションスコアに加算され、決勝の総スコアが決まります。

10.1.3 同点の場合

あるラウンドで2人以上の競技者が同点の場合、ビジュアルジャッジの合計スコアが高い競技者の順位が高くなります。それでもなお同点の場合は、総合的な「全体的な印象スコア」が高い競技者の順位が高くなります。

10.2 デブリーフィング

競技後、競技者は、イベントオーガナイザーが発表するスケジュールに従って、ジャッジとスコアシートを確認する機会があります。このレビューは対面またはオンラインで行われることがあります。競技者は、SCAJ イベントマネージャーがスコアシートのコピーをスキャンする前に、元のスコアシートを保持することはできません。

11.審査基準

11.1 競技エリア

決勝ではテクニカルジャッジが、競技時間の開始時と終了時に競技エリアの整理整頓を評価します。

11.2 ドリンクのプレゼンテーション

ドリンクの視覚的なプレゼンテーションに基づいてポイントが与えられます。

11.3 技術的なスキル

競技者のエスプレッソマシンとグラインダーの操作に関する技術的な知識とスキルに基づいてポイントが与えられます。

11.4 パフォーマンス

競技者の全体的な印象、スキル、及びドリンクのプレゼンテーションに基づいてポイントが与えられます。

12.評価基準

評価基準には2種類のスコアリング方法があります：

- ・評価基準:0~3
- ・評価基準:0~6

すべてのジャッジに対して評価基準は同じです。

12.1 評価基準 0-3

- 0 - 評価するものなし
- 1 - あまり良くない(許容できる/平均的)
- 2 - ある程度良い(良い/とても良い)
- 3 - 非常に良い(優れている/並外れている)

利用可能なスコアは0から3の範囲です。半点は認められません。ジャッジは次のように採点します：

スコアが0の場合、このカテゴリで評価できるものは何もないことを示します。

スコアが1の場合、このカテゴリの要素が低いまたは平均的な印象を与えたことを示します(許容できる/平均的)。

スコアが2の場合、このカテゴリの要素が良いまたはとても良い印象を与えたことを示します(良い/とても良い)。

スコアが3の場合、このカテゴリの要素で非常に高い印象を与えたことを示します(優れている/並外れている)。

スコアは2倍またはそれ以上で加重されます。0のスコアはヘッドジャッジの承認が必要です。

12.2 評価基準 0-6

- 0 - 許容できない
- 1 - 許容できる
- 2 - 平均的
- 3 - 良い
- 4 - とても良い
- 5 - 優れている
- 6 - 並外れている

利用可能なスコアは0から6の範囲です。1から6の範囲内では半点が許容されます。ジャッジはスコアの範囲をフルに活用することが推奨されます。低い数値はパフォーマンスが劣っていることを示し、高い数値はパフォーマンスが良いことを示します。特定のスコアは2倍または4倍で加重されます。

13.ヘッドジャッジ評価手順

以下は、JLACにおけるヘッドジャッジによる評価手順の説明です。

13.1 ベストプラクティス

ジャッジは競技者の衛生状態と清潔さに基づいてスコアを決定します。作業中に清掃を行うことは競技者のスコアにプラスになります。競技者が以下のことを行った場合、低いスコアが与えられます：

- A. スチームワンドを清掃するため以外の用途で使う布を使用する。
- B. 布を衛生的でない、または食品安全基準を満たさない方法で使用する(例：顔や口に触れるなど)。
- C. カップの縁を持つ。
- D. 床に触れた布を再度使用する。
- E. 提供されたドリンクに滴りやこぼれた液体を掃除しない。

このカテゴリでは、評価基準0~3に3倍したスコアが使用されます。

13.2 開始時と終了時の整理整頓

- A. 競技者の作業エリア(作業台、マシン上部)の整理整頓が評価されます。エリアが乱雑な場合、スコア 0 が与えられることがあります。
- B. 作業エリアは実用的かつ効率的に整理されているべきです。
- C. パフォーマンスタイムが始まる時点で、最低 3 枚のクロスを用意する必要があります。
それぞれのクロスには用途が指定されていなければなりません。ジャッジはこれらのクロスの使用方法を評価します。競技者は以下の用途でクロスを使用する必要があります：
- ・スチームワンド用
 - ・フィルターバスケット清掃用
 - ・作業台清掃用
- エプロンや競技者の体にかげられたタオルもこのカウントに含まれます。
- D. エスプレッソマシン上にカップに水が入っている場合、競技者は失格となります。
- E. 作業エリアは競技者の競技時間終了時に清潔で整頓されているべきです。アクシデントが起こった場合(例：競技者がドリンクをこぼした場合)、競技者はパフォーマンスタイム終了時までそれを掃除しなければなりません。
- F. 全ての器具や道具(例：タンパー、カップ、トレイ、ピッチャーなど)が評価に含まれます。エスプレッソマシン、作業台、プレゼンテーションテーブル上のアイテムも含まれます。このカテゴリでは、評価基準 0～3 に 4 倍したスコアが使用されます。

13.3 技術的スキルとマシンの使用に対する総合印象

競技者の技術的パフォーマンスに対する総合的な印象は、0～6 の基準で評価されます。評価の要素には以下が含まれます：

- A. 競技者の全体的なワークフローおよびツール、機器、アクセサリーの使用状況。
- B. エスプレッソマシンの正しい使用方法と操作についての競技者の理解(スチームワンドの正しい使い方も含む)。
- C. 競技者がグラインダーの正しい使用方法と操作について理解しているかどうか(グラインダーを通してコーヒーの管理を含む)。競技者は準備時間中にグラインダーを調整しているべきです。競技者は各ショットのためにコーヒーを挽くべきです。もしグラインダーが全自動エスプレッソマシンの一部であれば、このルールは考慮されません。ラテの場合は最低 20 秒以上必要です。
- D. ヘッドジャッジは、競技者がグラインダーに対する理解やドーシングとタンピングの一貫性を評価します。ヘッドジャッジは、タンピングの均一さ、チャンネリングの兆候、一貫性のあるタンピングを評価します。ポルタフィルターを使用しない全自動エスプレッソマシンの場合、このルールは考慮されません。
- E. ヘッドジャッジは、競技者のプレゼンテーション全体にわたるワークフローを評価します。ツール、カップ、アクセサリーの配置と整理整頓、競技者の動きと流れ、作業台の清潔さ(機器、カウンター、タオル、ピッチャー)、コーヒーとミルクの管理などが含まれます。

F. 競技者はポルタフィルターのスパウトに付着した水分やコーヒー粉を清掃しなければなりません。スパウトの清掃には、すすぎ、タオルを使用する方法、または指で拭く方法が許容されます。ポルタフィルターなしで動作する全自動エスプレッソマシンの場合、このルールは考慮されません。

G. 競技者は、求められる質のミルクを作成するためのスチームワンドの正しい使用方法と操作に対する理解を示さなければなりません。

このカテゴリでは、評価基準 0~6 に 4 倍したスコアが使用されます。

14.ビジュアル評価手順

以下は、ビジュアルスコアシートの説明です。

視覚基準および定義は、予選、決勝のすべてのラウンドで共通しており、評価されるドリンクの数や種類が各ラウンドで異なるだけです。

14.1 予選、決勝 - ステージパフォーマンス

ドリンクは、以下の基準を用いてビジュアルジャッジによって評価されます。ヘッドジャッジは、必要に応じてカップやドリンクの位置を調整し、ビジュアルジャッジが評価しやすいように配置することができます。

また、評価が終了したカップを片側に移動させます。

14.1.1 提出された写真と一致する 2 つの同ドリンク

ジャッジは、提供された 2 つのドリンクが、提出された写真とどれだけ類似しているかを評価します。競技者は特定のパターンを再現する技術を披露するため、このカテゴリでは提供された両方のドリンクが審査対象となり、提出された写真と一緒に審査されます。

提供された 2 つのドリンクが提出された写真と完全に一致している場合にのみ 3 点が付与されます(このセクションは、デザインの質ではなく類似性を評価します)。

1 つのドリンクが提出された写真と一致し、もう 1 つがまったく似ていない場合は 1 点が付与されます。

両方のドリンクが提示された写真とまったく似ていない場合は 0 点となります。

このカテゴリにおいて、両方のビジュアルジャッジのスコアは同じになります。

評価基準 0~3 に 4 倍したスコアが使用されます。

14.1.2 視覚的な表面の品質

ジャッジは、気泡のない滑らかで光沢のある表面の一貫性を視覚的に評価します。このセクションでは、ジャッジに提供されたカップのみが評価対象となります。

評価は、カップがジャッジの前に提供された直後に行われます。その後表面品質が劣化した場合は考慮されません。

評価基準 0~3 に 2 倍したスコアが使用されます。

14.1.3 コントラスト/鮮明さ

ジャッジは、提供されたドリンクのみを評価します。コーヒーとミルクフォームの間に明確なコントラスト/鮮明さが示されているパターンには高得点が与えられます。意図しない混ざりやぼやけがある場合、このスコアは減少します。ジャッジは、競技者が意図的に作成したクレマ、コーヒー、ミルクフォームの混ざり具合を、求められるパターンの一部として考慮します。

評価基準 0～6 に 2 倍したスコアが使用されます。

14.1.4 パターンの調和、サイズ、位置

ジャッジは、提供されたドリンクのみを評価します。競技者は、パターンをカップのハンドルが 3 時の位置になるように整列させる必要があります。ハンドルがないカップの場合、競技者がカップ内でパターンをどのように整列させるかを決定できます。

ジャッジは、パターンのサイズと位置、およびカップとの関係性を評価します。パターンが複数の要素で構成されている場合、それらの位置とバランスを確認します。対称性、過密な部分、またはカップ内の余白が全体のバランスに影響を与える可能性があるかどうかを評価します。

評価基準 0～3 に 2 倍したスコアが使用されます。

14.1.5 達成度

ジャッジは、提供されたドリンクのみを評価します。難易度の高いパターンを成功させた場合、高得点が与えられます。競技者が難しいパターンに挑戦したが、それが提供されたドリンクで表現できていない場合は、低得点となる可能性があります。ジャッジは、提出された写真を見直して意図されたパターンを把握することができます。

評価基準 0～6 に 2 倍したスコアが使用されます。

14.1.6 全体的な魅力

ジャッジは、提供されたドリンクのみを評価します。ジャッジは、ドリンク全体の見た目を自分自身への影響に基づいて評価します。パターンの創造性を考慮します。ラテアートの技術とスキルをさらに高めたデザインを提供した場合、高得点が与えられる可能性があります。ジャッジは、フリーポアのような基本的なラテアートスキルを認識し、それらが新たなレベルに到達している場合に高得点を与えることがあります。このセクションを評価する際には、コーヒープロフェッショナルではなく、顧客が提供されたパターンをどのように評価するかが考慮されます。

評価基準 0～6 に 4 倍したスコアが使用されます。

14.1.7 ホスピタリティ

顧客対応スキルがこのスコアに反映されます。例として、礼儀正しさ、気配り、アイコンタクトなどが挙げられます。ジャッジは、文化や性格の違いを考慮しながら、自然で明確かつ簡潔なコミュニケーションや、作業の流れや時間を管理する能力を評価します。

評価基準 0～3 に 3 倍したスコアが使用されます。

14.1.8 機器とスペースの使用

このカテゴリでは、バリスタとしての職業に関連する技術や準備といった特性が評価されます。ジャッジテーブルにおけるすべてのアクセサリがすぐに使用できる状態であり、テーブルが適切に維持され、目的に沿って整理されていることが求められます。競技者は、自分の提供および作業スペースを完全に掌握しているコーヒープロフェッショナルであることを示さなければなりません。

評価基準 0~3 に 3 倍したスコアが使用されます。

14.1.9 総合評価

総合スコアは、バリスタのプレゼンテーションスキルとコンセプト/パフォーマンス全体の印象を捉えるものです。ジャッジは、示された技術スキルやカップ内のビジュアル、それがどのようにコンセプトやバリスタのプレゼンテーションによって支えられているかを考慮します。競技者は、コーヒーのアンバサダーとしての役割を示さなければなりません。視覚的な体験を積極的かつ創造的に向上させるプレゼンテーションには高得点が与えられます。

評価基準 0~6 に 4 倍したスコアが使用されます。

14.2 決勝ラウンド - アートバー

A. 提供されるパターンは、日本中のバリスタにとってのインスピレーションとなり、一般の人々に対してバリスタのスキルを印象的に表現するものとするべきです。

B. 写真は、最低 4 名のジャッジによって審査されます。そのうち 3 名は認定された JLAC ジャッジであり、1 名はシェフやアーティスト、デザイナーなどのコーヒー専門知識を持たない芸術的専門家が選ばれる場合があります。

C. ジャッジは、ドリンクを全体的な魅力的な印象およびコントラスト/鮮明さに基づいて評価します。

評価基準 0~6 に 3 倍したスコアが使用されます。

15. ジャパンラテアートチャンピオンシップにおける異議申し立て

15.1 SCAJ 競技会での審査/採点に関する問題

採点に関する質問は、競技者のデブリーフィング中にジャッジチームが回答します。競技者がさらに質問がある場合は、ヘッドジャッジに相談します。競技者が未解決のエラーがあると感じた場合は、書面で抗議を申し立てることができます(以下の「異議申し立て」セクションを参照)。

異議申し立ては、ヘッドジャッジ、SCAJ スタッフによって審査され、SCAJ の代表者が競技者に決定を通知します。もしヘッドジャッジまたはその他の JLAC 関係者が、競技者の評価中に JLAC ジャッジによる不誠実な行動を発見または疑った場合は、以下が適用されます:

ヘッドジャッジは、公式スコアキーパーから関連するすべてのスコアシートの返却を求めます。

ヘッドジャッジは、JLAC ジャッジ、SCAJ スタッフと会合を開き、状況を判断します。

SCAJ は、その後、非公開会議で状況を判断します。

不誠実な行動が広範囲に及ぶ場合、SCAJ は、その JLAC ジャッジを今後の JLAC の審査から除外する権限を持ちます。

15.2 JLAC でのその他の問題

競技中に JLAC に関して問題(スケジュール、運営など)が発生した場合、競技者は現地の SCAJ スタッフに連絡してください。SCAJ スタッフは、JLAC の現場で問題を解決するために全力を尽くします。SCAJ スタッフは関係するすべての当事者に連絡を取り、問題を話し合い、SCAJ スタッフチームがその場で決定を下します。SCAJ スタッフは、競技者に決定を通知します。

15.3 JLAC での異議申し立て

決定に同意しない場合は、SCAJ に書面で異議を申し立てることができます。委員会によるすべての決定は最終的なものとされます。異議申し立ての手紙には以下を含める必要があります：

- ・氏名
- ・申立て日付
- ・苦情の明確かつ簡潔な説明
- ・該当の日付と時間
- ・コメントと提案される解決策
- ・関係する当事者
- ・連絡先情報

この情報が記載されていない書面での抗議/異議申し立ては受け付けられません。すべての人は、事件発生から 24 時間以内に書面での苦情または異議申し立てを competition@scajconference.jp 宛てに提出する必要があります。苦情は SCAJ チームに受理されます。

15.4 JLAC での SCAJ による異議申し立ての審査

SCAJ は、書面による苦情や異議申し立てを審査し、可能な限り早く対応するよう努めます。最終的な決定は、受理から 30 日以内に通知されます。SCAJ は、最終決定を電子メールで書面にて通知します。

16.日本における競技会イベントについて

16.1 競技団体のルール変更のハイライト

以下は、競技団体に認められているいくつかの運営上の調整事項の一覧です。

- ・ラウンド/競技手順:
- ・競技団体は、運営をスムーズに行うため、JLAC の予選ラウンド、準決勝ラウンド、または決勝ラウンドのいずれか 1 つのラウンドのみを行い、チャンピオンを選出することができます。
- ・競技団体の競技では、WLAC と同一のカップを使用する必要はありません。ただし、各ドリンクタイプの容量定義に合致したカップを使用する必要があり、可能であれば、WLAC と同じ容量および形状のカップを使用して、競技団体のチャンピオンが WLAC に備えることが理想的です。
- ・提供するエスプレッソマシンについて、競技団体は以下の 2 つのオプションから選択できます：
 - 1.全自動エスプレッソマシン
 - 2.セミオートエスプレッソマシンと独立したグラインダー(「4.1.1 定義」セクションを参照してください)。

オプション 1 の場合、競技団体は、このドキュメントで以前に説明された WLAC ルールを使用し、ビジュアルジャッジ 2 名とヘッドジャッジ 1 名が競技者を採点します。

オプション 2 の場合、競技団体はジャッジチームにテクニカルジャッジを追加することができます。この場合、テクニカル評価手順が適用され、テクニカルジャッジのスコアがビジュアルジャッジ 2 名とヘッドジャッジのスコアに追加されます。

・ルールと規定の翻訳:

競技団体は、このドキュメントの翻訳版を提供することができます。ただし、いかなる論争を解決する際にも、公式のワールドドラテアートチャンピオンシップルールと規定が使用されます。競技団体は、審査および評価に関連するルールを変更することはできません。

・競技者の最低人数:

競技団体のチャンピオンシップには、最終的な WCE 認定イベントで最低 6 名の競技者が必要です。6 名未満の場合、競技団体は、予定された競技日の少なくとも 2 週間前に地域コミュニティディレクターに連絡する必要があります。

・予選ラウンド:

競技団体は、チャンピオンシップに先立ち、予選競技を開催することができます。予選競技の構成は競技団体が決定できますが、最終チャンピオンシップイベントの構成は変更できません。予選では WCC 代表者は必要ありませんが、決勝では WCC 代表者が必要です。

・練習時間:

競技者のスケジュールされた練習時間は競技団体が決定できますが、すべての競技者に同じ練習時間を提供する必要があります。

・練習場所:

練習はステージ上、バックステージ、または会場外で行うことができます。練習場所は競技団体が決定します。

・提供機材:

競技団体は、ワールドコーヒーチャンピオンシップと同じスポンサー機材を使用する必要はありません。競技団体が独自の機材スポンサーを獲得した場合、機材要件を独自に指定できます。

・スコアシートの返却:

競技団体は、スコアシートをイベント中に物理的に競技者に返却するか、イベント後に電子メールで送信することができます。

・マイクと音楽:

会場および利用可能な音響映像機器によっては、競技団体は競技者に音楽を流したり、ワイヤレスマイクを装着させたりすることを許可する場合と許可しない場合があります。

・競技者のデブリーフィング:

ジャッジは競技者とデブリーフィング時間を設けます。このデブリーフィング時間のスケジュールは競技団体が設定します。

・競技者オリエンテーション:

すべての競技者は、競技前に同じ情報を受け取る必要があります。競技者には、使用される機材、練習スケジュール、競技スケジュールなどの情報が通知されるべきです。

16.2 テクニカル評価手順

以下は、競技団体が競技用機材としてセミオートエスプレッソマシンおよび独立型グラインダーを提供する場合に使用するテクニカル評価スコアシートの説明です。

16.2.1 テクニカル評価スケール

評価には以下の2種類のスコアリングがあります:

・Yes/No

Yes = 1

No = 0

・評価基準: 0~6

0 - 許容できない

1 - 許容できる

2 - 平均的

3 - 良い

4 - とても良い

5 - 優れている

6 - 並外れている

16.2.2 テクニカル評価 - エスプレッソ

テクニカルスキルの基準は、決勝ラウンドのみ評価されます。

16.2.2.1 グループヘッドのフラッシュ

グループヘッドのフラッシュは、抽出前(ポルタフィルターをグループヘッドから取り外した後、または再挿入する直前)に行われる必要があります。提供されるドリンクの抽出前にグループヘッドがフラッシュされている場合、ジャッジは「Yes」とマークします。

16.2.2.2 ドーシング前のフィルターバスケットは乾燥/清潔か

フィルターバスケットが提供されるドリンクのドーシング前に乾燥および清潔にされていた場合、ジャッジは「Yes」とマークします。

16.2.2.3 ドーシング/グラインディング時の粉の無駄は許容範囲内か

粉の無駄とは、競技中に使用されなかった挽いたコーヒー（例：ドーシングチャンバー、ノックボックス、カウンター、ゴミ箱、床などで見られるもの）を指します。提供されなかったドリンクによって生じた粉の無駄は含まれません。許容範囲内の粉の無駄は、ドリンクカテゴリごとに 5g 以下であることです。5g 以下の場合、ジャッジは「Yes」とマークします。

16.2.2.4 一貫したドーシング/タンピング

競技者は、すべてのドリンクで一貫した方法でドーシングとタンピングを行うべきです。コーヒーの粉を均等に分配し、その後、十分な圧力で水平にタンピングします。文化的な違いも考慮されます。

16.2.2.5 ポルタフィルターの清掃(挿入前)

競技者は、ポルタフィルターのバスケットリムおよびサイドフランジを清掃してからマシンに挿入する必要があります。清潔である場合、ジャッジは「Yes」とマークします。

16.2.2.6 挿入後の即時抽出

競技者は、ポルタフィルターをマシンに挿入した直後に抽出を開始するべきです。即時抽出ができていた場合、ジャッジは「Yes」とマークします。

16.2.2.7 抽出時間

テクニカルジャッジは、すべての抽出ショットの時間を計測し、抽出時間の差が 3.0 秒以内に収まっているかどうかを確認します。提供されたすべてのドリンクの抽出時間の差が 3.0 秒以内である場合、ジャッジは各ドリンクカテゴリに「Yes」とマークします。

抽出時間は競技者がマシンの抽出ボタンを押した瞬間から開始します。提供されなかったショットの抽出時間は、このスコアには含まれません。

・最低抽出時間:

ラテ: 最低 20 秒以上

抽出時間が 20 秒未満の場合、ジャッジは「No」とマークします。

16.2.3 テクニカル評価 - ミルクフローシング

16.2.3.1 スタート時ピッチャーは空で清潔か

冷たく新鮮なミルクを清潔なピッチャーに注いでください。準備時間中にミルクをピッチャー内に注いでおくことはできません。ミルクピッチャーは、内側も外側も清潔にしておいてください。

16.2.3.2 スチームワンドのパージ(スチーム開始前)

競技者は、スチームワンドをミルクピッチャーに挿入する前にパージを行う必要があります。

16.2.3.3 スチーム後のスチームワンドの清掃

スチームワンドは、専用のタオルで清掃されるべきです。清掃が行われた場合、ジャッジは「Yes」とマークします。

16.2.3.4 スチーム後のスチームワンドのパージ

競技者はミルクをスチームした後にスチームワンドをパージする必要があります。パージが行われた場合、ジャッジは「Yes」とマークします。

16.2.3.5 ピッチャーの清潔さ/許容されるミルクのロス

許容されるミルクのロスは、ドリンクカテゴリごとに合計 90ml 未満です。ピッチャー内に残る量が 90ml 未満であれば、ジャッジは「Yes」とマークします。

16.2.4 テクニカルスキル - 衛生管理

ジャッジは、競技者のプレゼンテーション全体を通じて衛生面を評価します。

競技者のプレゼンテーション時間が始まる時点で、競技者は最低 3 枚のクロスを用意する必要があります。それぞれのクロスには用途が指定されていなければなりません。ジャッジはこれらのクロスの使用方法を評価します。競技者は以下の用途でクロスを使用する必要があります：

- ・スチームワンド用
- ・フィルターバスケット清掃用
- ・作業台清掃用

以下のような場合、競技者のスコアは低くなります：

- ・専用でないクロスをスチームワンドの清掃に使用する(他の用途で使用しているクロスをスチームワンド清掃に使う場合)。
- ・クロスを非衛生的または食品安全上不適切な方法で使用する(例:クロスで顔や口に触れるなど)。
- ・クロスが床に触れた後に使用する。

16.2.5 パフォーマンス

16.2.5.1 作業スペースの整理整頓と清潔さ(開始時と終了時)

- A. 競技者の作業スペース(作業台、準備台、マシンの上部)の清潔さと整理整頓具合は、0~6 の基準で評価されます。エリアが散らかっている場合、スコアは 0 となります。
- B. グラインダー周辺に少量のコーヒーの粉があることは許容されます。
- C. 作業エリアは、実用的かつ効率的な方法で整理整頓されているべきです。
- D. 競技時間の開始時に、競技者は最低 3 枚の清潔なクロスを用意する必要があります。それぞれのクロスには明確な用途があるべきです(例:1 枚はスチームワンド用、1 枚はバスケットの乾燥・清掃用、1 枚は作業台の清掃用)。競技者のエプロンや身につけたタオルもこの数に含まれます。
- E. エスプレッソマシンの上部に置かれたカップに水が入っている場合、競技者は失格となります。
- F. 競技開始時にポルタフィルター内にパック(別名「ケーキ」)が入っていることは許容されます。これにより、開始時の清潔スコアに影響はありません。
- G. 競技終了時には作業エリアを清潔にしておく必要があります。ただし、グラインダー周辺に少量のコーヒー粉があることは許容されます。
- H. 万が一アクシデントが起きた場合(例:ドリンクをこぼすなど)、競技時間内にその後片付けを完了する

必要があります。

- I. 作業中に清掃を行うこと(ステージに溢れたの粉を取り除く、テーブルを拭くなど)は、競技者のスコアを向上させます。
- J. タンパー、カップ、トレイ、ピッチャーなどのすべての器具やツールは、エスプレッソマシンや作業台上のものも含めて、この評価対象となります。
- K. 使用済みのコーヒーパックが競技終了時にポルタフィルター内に残っていることは許容されており、このスコアに影響しません。

16.2.5.2 総合的な印象

競技者の技術的パフォーマンスに対する総合的な印象は、0～6 の基準で評価されます。評価される要素は以下の通りです：

- A. 競技者の全体的な作業手順およびツール、機器、アクセサリーの使用方法。
- B. エスプレッソマシンの正しい使用および操作についての理解力。
- C. グライNDERの正しい使用および操作の理解を示すこと。これには、準備時間中に挽き目の調整を行うことや、ショットごとにコーヒーを挽くことが含まれます。
- D. 抽出時間の差が 3 秒以内で、ショット量が 25～35ml(基準値 30ml±5ml)の範囲内になるよう試みていること。抽出時間は、ラテでは 20 秒以上必要です。
- E. テクニカルジャッジは、競技者のグラインダーに対する理解、およびドーシングとタンピング技術の一貫性を評価します。タンピングの均一さ、チャンネリングの兆候、一貫性のあるタンピングを評価します。
- F. プレゼンテーション全体を通じた作業手順が評価されます。これには、ツール、カップ、アクセサリーの配置や整理整頓具合、作業台周辺での動きや流れ、作業台(機器、カウンター、タオル、ピッチャー)の清潔さと管理能力、コーヒーおよびミルクの管理能力が含まれます。
- G. ポルタフィルターの注ぎ口に付着した水やコーヒー粉を取り除く必要があります。すすぎ、タオルの使用、指で拭き取る方法はすべて許容されます。
- H. スチームワンドを正しく操作し、必要な品質のスチームドミルクを作成する理解を示すこと。

16.3 大会における抗議

大会中に JLAC に関して問題や抗議がある場合、最初のステップとして現地のイベント主催者または WCC 代表者に連絡してください。すべての問題はできるだけ早く解決されるべきであり、現場での解決が最も効果的で適切です。大会終了後の抗議は、効果的に仲裁するのが困難になる場合があります。

イベント主催者が問題や抗議を現場で解決可能と判断した場合、主催者は関係者に連絡を取り、公平に対応します。競技者の問題や抗議について話し合い、イベント主催者および指定された WCC 代表者によって共同で現場にて決定されます。その決定は主催者または WCC 代表者から競技者に通知されます。

競技者が決定に対して異議を申し立てたい場合、事件から 24 時間以内に competition@scajconference.jp 宛てに提出してください。抗議は SCAJ および提出時に指定された WCC 代表者に直接送信されます。

ロジスティクス関連の抗議の場合、SCAJ が調査および仲裁の責任を負います。このプロセスには WCC 代表者も相談役として参加します。

ジャッジやルールに関連する抗議の場合、WCC 代表者が問題を調査し、SCAJ に仲裁案を提示します。

SCAJ は、抗議に対して書面で回答し、SCAJ イベントにおける抗議の主な連絡先と見なされます。

SCAJ および WCC 代表者は、すべての書面による抗議を受理から 24 時間以内に WCC スタッフに報告する必要があります。ただし、WCC スタッフは JLAC ジャッジやボランティアを直接認定または管理していないため、その行動を仲裁することはできません。

SCAJ イベントにおける抗議の解決には追加の時間がかかる場合があり、提出者は解決に最大 30 日かかる可能性があると予想してください。